

平成18年

新年懇親会開催



愛知県板金工業組合員会
発行名古屋市昭和区北山町
3-8-6 T 466-0006
電話 052-732-1226

愛知県板金工業組合は、新年懇親会を平成18年1月15日(日)に知多郡南知多町の温泉旅館「花乃丸」にて開催しました。

この冬は記録的な寒波にみまわれ、年末にはこの地方にも大雪が降りましたが、当日は寒さも緩み穏やかな日和に恵まれ、来賓14名組合員174名の参加者があつた。知多ブロックの神谷恒男氏の司会のもと、支部長竹内廣幸氏の開会の辞にて始まり冒頭、昨年末に作られた県板旗披露のセレモニーが行なわれた。常務理事糀山基義氏の歓迎の挨拶に続き、齋藤理事長による挨拶があつた。日本経済は景気回復の兆しと言われているが残念ながら我々の業界では、まだ実感はなく危機感を持つて仕事に携わっている現状を話されました。又、昨年の全国建築板金業者愛知大会の大成功に感謝を述べられた。さらに、今年の県板金主要事業としてアスベスト講習会、保証制度の改正に係る説明会(保証制度適用の全事業所を対象)そしてファインスチール普及活動があげられますが、これらの事業多くの組合員さんが参加される様



▶ あいさつする齋藤理事長

に願われました。
統いて来賓の愛知県中小企業団体中央会専務理事田口豊彦氏、元選出衆議院議員伊藤忠彦氏、愛知県亜鉛鉄板問屋会会长瀬戸正吾氏の三氏より心温まる挨拶を賜り、

来賓紹介、神田愛知県知事よりの

祝電披露の後、積水化学工業株宮田敏行社長の乾杯の音頭で開宴された。参加の方々は久しぶりに顔を合わせ近況報告、今年の抱負を語りつつ話に花が咲き、和やかな会場となり、カラオケ大会も開催された。十数名の参加があり自慢のどを披露した。歌われた方には参加賞もあり大いに盛り上がった。楽しい時間の過ぎるのは早いもので宴の終盤には次回開催の西三板金連合会副会長久世明男氏の挨拶があり、(株)イリノ入野道宏氏に中締めをして頂き、神谷聰氏の挨拶があり、(株)日本鐵板(株)名古屋支店支店長長谷川信俊氏

衆議院議員

自由民主党 伊藤 忠彦氏

愛知県中小企業団体中央会

専務理事 田口 豊彦氏

愛知県板金総合職業訓練協会

会長 長谷川信俊氏

日本鐵板(株)名古屋支店

支店長 妻鹿 利郎氏

クボタ松下電工外装(株)

名古屋営業所 主事 和美 健氏

積水化学工業(株)建材営業所

所長 宮田 敏行氏

電気化学工業(株)名古屋支店

課長 今井 要氏

(株)イリノ

代表取締役 入野 道宏氏

キタムラ

課長 後藤 一之氏

愛知県亜鉛鉄板問屋会

会長 北村 晃幸氏

会計

代表 濑戸 正吾氏

タカケン金属(株)

涉外委員長 吉田 勝彦氏

営業課長 森口 純一氏

日新総合建材(株)

支店長 土田 達彦氏

杉浦 悟氏

氏による閉会の辞にて滞りなく新年懇親会は盛大な内、終了した。

岡戸 (知多支部)



▶ 中締め



▶ 懇親会風景

石綿特別教育講習会開催

開催

平成17年12月15日 岡崎
平成18年1月13日 一宮
平成17年7月より石綿障害予防規則が施行され、石綿を含む建築物の解体・改修工事等の作業に労働者を就かせるに当たっては、石綿の有害性、作業の方法、石綿等の粉じんの発散を抑制するための措置、保護具の使用方法等について特別の教育を行うことが事業者に義務付けられました。



▶山來講師

合員が多く有り、愛知県板金工業組合では経営研究委員会が担当して「石綿取り扱い作業従事者特別教育」の講習会を2会場にて開催しました。両会場とも講師を山來棟雄氏に依頼し、午後半日間の講義をして

物の解体・改修工事等の作業に労働者を就かせるに当たっては、石綿の有害性、作業の方法、石綿等の粉じんの発散を抑制するための措置、保護具の使用方法等について特別の教育を行うことが事業者に義務付けられました。

この特別教育を受講希望する組合員が多いため、会場を設ける予定が有りますので、受講を希望される方は早めに支部長まで申し込まれください。

なお、石綿に関わる作業主任者講習会は当面の間当組合では主催できませんので、この資格が必要な方は他団体・機関等で受講してください。

十七年度技能検定

新技能士二十八名誕生

合格証書伝達式及び表彰式

愛知県板金工業組合は、技能委員会担当で12月18日(日)名古屋国際ホテルにおいて関係者73名が出席して伝達式及び表彰式を行なつた。午後4時、加納技能委員長の開会辞で始まつた。齋藤理事長は挨拶に引き続き一二級合わせて27名(欠席者1名)に一人ずつ合格証書を手渡しました。また、成績優秀者7名が表彰を受けた。来賓祝辞では、愛知県職業能力開発協会常務理事・長谷川守正氏、佐藤技能委員会担当役員(副理

最後に、合格者代表として石垣昇三君が感謝の気持ちを伝えた。佐藤技能委員会担当役員(副理

（曲げ板金作業）

受賞者

（社）愛知県技能士会連合会理事長・鈴木吉久氏、愛知県板相談役・平野弘氏から技能士誕生の祝辞をいただいた。

また、時間の都合上祝辞をいた

だかなかつた来賓は、愛知県板相談役・村上章氏、同役・長谷川信俊氏、各ブロック長5名が紹介されました。

最後に、合格者代表として石垣

昇三君が感謝の気持ちを伝えた。

佐藤技能委員会担当役員(副理

（社）愛知県技能士会連合会会長表彰
一級 石垣 昇三
二級 立松 直樹
（社）愛知県職業能力開発協会会長表彰
一級 大野 真
二級 原田 裕治
愛知県板金工業組合理事長表彰
一級 福田 秀和
二級 加藤 武晴
高田 裕介

▶合格者一同



新年懇親会

江南支部



▶あいさつする柘植支部長



中締めは石田領治氏により、各事業所の繁栄と、私たちにとって万歳を三唱し、午後2時半にお開きとなりました。

石井（江南支部）

江南支部では1月5日(木)午前11時半より、江南「てんぶら天錦」にて新年会を開きました。今回は出席者が13名あり、全板愛知大会以来の笑顔で集まりました。まず、支部長の柘植賢親氏が挨拶し、これまでの事業報告と支部恒例の親睦旅行の日程が報告されました。続いて、今井文夫氏の乾杯の音頭で宴会が始まり、歓談がはずみ、カラオケも入って大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

地域職業センターにて98名、一宮会場はアイプラザ一宮にて158名が受講されました。また名古屋においても、3月16日に全労済愛知県本部（金山駅より徒歩3分）にて同様の講習会を定員約100名で開催します。その後にも100名単位で講習会を設ける予定が有りますので、受講を希望される方は早めに支部長まで申し込

みください。

なお、石綿に関わる作業主任者講習会は当面の間当組合では主催できませんので、この資格が必要な方は他団体・機関等で受講してください。

（曲げ板金作業）

保証制度再講習開催

組合員の皆様に於かれましては機関紙「愛板」1月号に「急告」と掲載され、さぞかし驚かれた事だろう。

新制度が4月よりスタートする以上は、改正される内容を詳しくお知らせする事と再講習を急がねばならない。1月22日の再講習は通常の講習会だが2月19日と3月26日の講習会は前倒しての講習となり、保証制度適用店の組合員全員に受講して頂く事をご理解下さい。

昨年は、逮捕者まで出た悪質なリフオーム業者やアスベスト問題、せた建設業界であつたが、全ての業種に保証制度が充実し世間に認められていれば悪質な業者を排除できたと思う。

2000年にスタートした品確法のボディーブローが効いてきた



▶ 講習会風景



保証委員長 吉田万作



▲ 会場風景

第48回 愛知県職業訓練展

県民に職業訓練に対する理解と

認識を深めもらうために、毎年愛知県と職業能力開発協会が職業訓練展を開催していますが、本年度も県内3会場（一宮地域職業訓練センター、岡崎地域職業訓練センター、東三河高等技術専門校）で1月28日㈯、29日㈰の2日間開催されました。

各会場では、様々な職種の訓練

展示をして訓練内容を紹介していました。又、訓練生実習作品の販売、来場者の製作体験も行われていました。

私が行った尾張会場（一宮）では愛知県板金技能専門校が出展しており、バケツ・ステンレス製取り取り・ケース入り銅板折鶴を展示即売していました。来場者の製作体験コーナーには、銅板表札・猫 中部空港、モリゾー、キッコロ、戌のレリーフが用意され、指導員と訓練生がお客様の手助け

県板青年部 建築板金競技大会

1月8日㈯岡崎地域職業訓練センターにて、第28回全国大会愛知県予選会を、西三プロック担当で行なった。全国大会へは上位二名が出場する。

午前9時、開会式が行なわれ山下部長の挨拶、齋藤理事長、西俣西三プロック長の激励の挨拶の



▲ 出場選手一同

課題は技能競技の部が、第19回と同形で底が一辺70ミリの八角形、上部が直径70ミリの円、高さ140ミリの水差しを厚み0.3ミリの銅板で製作。建築技術の部が、築20年の木造一階建て住宅で屋根・バルコニー部分改修図面並びに施工図（五ヵ所）、外壁改修の提案図面並びに施工図（窓廻り、庇部分）、工事準備期間から完了までの工程表を作成。大前提として、工事完了後株全日本建築板金保証センターの保証書を発行すること。

出場選手は、例年の技能競技の

部六名に加え、3年ぶりに建築技術の部にも選手が参加した。大会終了後、役員・幹事による厳正な審査の結果、技能競技の部・佐々木利浩君、澤田雄三君、建築技術の部・鵜飼良成君が、2月11・12日に静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで行なわれる全国大会に愛知県代表として出場する。

愛知県大会出場選手
技能競技の部
伊藤 昭浩（一宮）
山本 智也（二宮）
佐々木利浩（中川港）
檜谷 憲吾（知多）
澤田 雄三（岡崎）
夏目 太（東三）
鵜飼 良成（一宮）

建築技術の部
伊藤 昭浩（一宮）
山本 智也（二宮）
佐々木利浩（中川港）
檜谷 憲吾（知多）
澤田 雄三（岡崎）
夏目 太（東三）
鵜飼 良成（一宮）

3頁よりつづき

をしていました。これらの作品は大人子供を問わらず人気が有るので、29日は終了時間になり、他の訓練校は跡片付けを済ませているのに、まだ一生懸命作っているお客さんもいました。

津島支部**安全祈願祭・新年会**

▶ 安全祈願祭を終えて記念撮影

5名	5名	12名	16名	23名	19名	20名	13名	10名	9名	12名	23名	16名	23名	19名	20名	13名	10名	9名	12名	23名	16名	23名
8名	5名	12名	16名	23名	19名	20名	13名	10名	9名	12名	23名	16名	23名	19名	20名	13名	10名	9名	12名	23名	16名	23名

12月各支部の動き

5日 定例会	12日 新年会	19日 月例会
15日 安全祈願祭及新年会 (津島神社)	22日 三役会	29日 支部総会について、他 事業について
16日 忘年会(定例会)	23日 青年部忘年会(ニュー東洋ホテル)	30日 総会
17日 定例会	24日 青年部競技大会練習会	31日 第13回創立50周年委員会
18日 忘年会(定例会)	25日 県板新年会について	1日 18年度事業計画について 15日 入について
19日 支部会	26日 役員会	2日 次期役員人事について
20日 春日井支部	27日 青年部競技大会練習会	3日 19年度県板新年会懇親会につ いて 4日 19年1月21日(日) 5日 三谷温泉「ひがきホテル」
21日 江南支部	28日 青年部成人訓練	6日 19年1月21日(日) 7日 練習品作品の製作
22日 沢井支部	29日 新年会	8日 青年部定例会
23日 一月 中名古屋城本丸御殿建設 (熱田神宮)	30日 年会	9日 青年部成人訓練
24日 中村支部	31日 新年会	10日 青年部定例会
25日 木下支	1日 豊田支	11日 競技大会の練習及び職業訓
26日 春日井支	2日 豊田支	12日 練習品作品の製作
27日 江南支	3日 豊田支	13日 青年部定例会
28日 津島支	4日 豊田支	14日 青年部定例会
29日 江南支	5日 豊田支	15日 青年部定例会
30日 津島支	6日 豊田支	16日 青年部定例会
31日 江南支	7日 豊田支	17日 青年部定例会
1月 30日(月) 晩り時々小雨 高橋	8日 豊田支	18日 青年部定例会

3頁よりつづき		
又、当専門校副校長の竹内氏の作品であるテレビ塔のミニチュア（200分の1）が展示されましたが、見事な出来映えに来場者の注目を浴びていました。		
鈴木章太郎（緑支部）	8日 役員会	1日 (計7日間)
・岡崎技術工学院創立50周年事業について	19日 新年会	・青年部短期課程訓練（成人訓練）
8日 役員会	21日 新年会	13名
・支部総会について、他事業について	23名	21日 新年会
碧南支	15日 新年会	19名
刈谷支	27日 役員会	10名
豊田支	12日 第8回役員・班長会	13名
西尾支	13日 三役会議	10名
知多支	14日 駆け旅行について	5名
西三板支	15日 新年会	9名
犬山支	16日 定例会	9名
江南支	17日 総会	15名
熱田・南支	18日 安全祈願祭及新年会 (津島神社)	23名
岡崎支	19日 月例会	9名
19日 月例会	20日 ボーリング大会	21日 新年会
春日井支	21日 新年会	13名
21日 新年会	22日 新年会	19日 月例会
22日 新年会	23日 青年部定例会	21日 新年会
23日 青年部定例会	24日 新年会	22日 新年会
24日 新年会	25日 新年会	23日 青年部定例会
25日 新年会	26日 新年会	24日 新年会
26日 新年会	27日 新年会	25日 新年会
27日 新年会	28日 新年会	26日 新年会
28日 新年会	29日 新年会	27日 新年会
29日 新年会	30日 新年会	28日 新年会
30日 新年会	31日 新年会	29日 新年会
31日 新年会	1月 30日(月) 晩り時々小雨 高橋	30日 新年会

編集後記

世の中には常に不正が渦巻いている。はつきり違法行為と判つて、他人の迷惑を考えず、自分の利益のためにえてする不正。

本当はいけない事であるが、この位の事は皆がやっているから「マッいいか」と言つてする不正。様々なだ。

いくら「ちいぢやな」不正でもたび重なれば誰かに「チクラレ」、「御用！御用！」となる。

かくいう私も或る会の会計として会長の言われるがまま不正経理に加担している。といつても、我々の懐に入れているのではなく、会の運営をスムーズにするために、支出科目を偽つて役員会飲食費に回しているだけの事である。この

様な「ごまかし」は多くの会で行われており、会員は暗黙のうちに了解している。

しかし世の中の考え方は変化してきており、いつか不正を指摘される時が来ると思う。その前に正しておくべきである。

前述の会計であるが、次年度の決算書には反省会費なる支出科目を堂々と挙げ、会員の了承を得るつもりである。

懺悔。

前述の会計であるが、次年度の決算書には反省会費なる支出科目を堂々と挙げ、会員の了承を得るつもりである。

懺悔。

前述の会計であるが、次年度の決算書には反省会費なる支出科目を堂々と挙げ、会員の了承を得るつもりである。

懺悔。

前述の会計であるが、次年度の決算書には反省会費なる支出科目を堂々と挙げ、会員の了承を得るつもりである。

懺悔。

前述の会計であるが、次年度の決算書には反省会費なる支出科目を堂々と挙げ、会員の了承を得るつもりである。

懺悔。

前述の会計であるが、次年度の決算書には反省会費なる支出科目を堂々と挙げ、会員の了承を得るつもりである。

懺悔。